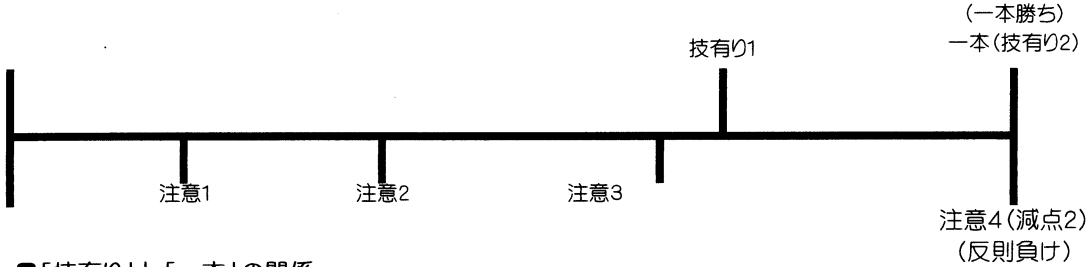


組手試合審判判定基準

1「注意」「技有り」「一本」の力関係



2「技有り」と「一本」の関係

$0 < \text{技有り} 1 < \text{一本(技有り} 2)$

3「注意」「技有り」が無く僅差の場合

- a. ダメージを優先する。
- B. ダメージがない場合は、有効打を含めた手数を優先する。
- C. 有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方が勝ち。
(最終延長でどちらかに決めなくてはならない場合)

4「注意」差1つの場合は、勝敗にあまり影響なく試合内容で決める。但し最終延長において試合内容が全く互角であった場合は「注意1」を取られた方が負けである。

$0 \begin{matrix} < \\ \equiv \\ > \end{matrix} \begin{matrix} \text{注意} \\ 1 \end{matrix} \begin{matrix} < \\ \equiv \\ > \end{matrix} \begin{matrix} \text{注意2} \\ \text{(減点1)} \end{matrix} \begin{matrix} < \\ \equiv \\ > \end{matrix} \begin{matrix} \text{注意} \\ 3 \end{matrix} > \begin{matrix} \text{注意} \\ 4 \end{matrix} \text{(減点2)}$

5「注意」差2の場合は基本的には注意2つ取られた方が負けである。しかし相手を大きくリードした場合は引き分けも有りうる。

$0 \geq \text{注意2 減点1}$

$\text{注意1} \geq \text{注意3 (減点1+注意1)}$

6「注意」差3つの場合は相手をどんなにリードしていても負けである。

$0 > \text{注意3(減点1+注意1)}$

7片方が「技有り」と「注意」がある場合は、基本的に技有がある方が勝ちであるが、注意の数と内容によって下記の通りである。

- a. $0 < \text{技有り+注意1}$
- b. $0 < \text{技有り+注意2(減点1)}$
- c. $0 \leq \text{技有り+注意3(減点1+注意1)}$
注意 基本的には勝ちであるが大きくリードされた場合は引き分けも有り得る。
- d. $0 > \text{技有り+注意4(減点2)}$
注意 技有りがあっても失格である。

組手試合時間

防具

※○着用義務 △任意 ×着用不可

クラス	本戦	延長 マスト	最延長 マスト	上段 膝蹴り	ヘッド ガード	サポーター				
						ケン 拳	スネ 脛	ヒザ 膝	ファールカップ 女子⇒アン ダーガード	インナーチェス トプロテクター
初 心	1分	1分	——	禁 止	○	○	○	○	男子○ 女子△	3年生以上○ 3年生未満△ 男子△
初 級	1分30秒	1分	——	禁 止	○	○	○	○	男子○ 女子△	3年生以上○ 3年生未満△ 男子△
幼年・小中学生	1分30秒	1分	——	禁 止	○	○	○	○	男子○ 女子△	3年生以上○ 3年生未満△ 男子△
高校生/男女	2分	1分	1分	○	○	○	○	○	○	女子○ 男子×
一般男女初・中級	2分	1分30秒	1分	○	△	○	○	○	男子○ 女子△	女子○ 男子×
一般男/女 上級	2分	2分	2分	○	×	×	×	×	男子○ 女子△	女子○ 男子×
シニア	1分30秒	1分	1分	○	△	○	○	○	○	女子○ 男子×

※心臓・胸部への衝撃を緩和する為の男子用チェストプロテクターは任意着用とします。(腹までかからない胸のみガードするもの。)

※ヘッドガードは全面金網有り、無しどちらでも可。各自ご用意ください。(貸し出しはしません。) ※チェストプロテクターは、お腹までプロテクターがかからない胸のみガードするもの。

※各自赤紐をご持参ください。

※拳サポーターは布製・革製、どちらでも良いが、硬質の素材が入っていない物である事。

※幼年・少年(小学2年生以下)でスネサポーターが膝にかかる選手は膝サポーターは不要。